

交通安全 ニュース

令和3年交通安全年間スローガン

メインスローガン

交通安全 人も車も ソーシャルディスタンス ~美ら島2021~

運転者（同乗者を含む）に対するもの

ゆとりある 心と車間の ディスタンス

歩行者・自転車利用者に対するもの

ママなんで？ 赤は止まると 習ったよ

中学生以下に対するもの

自転車に 乗るならきみも 運転手

謹賀新年



毎月
20日は

毎月
1日は

県民交通事故0の目

ハンドルキーパー運動推進中

交通安全県民の目

飲酒運転しないさせない許さない

飲酒運転の根絶運動の目

年末年始の
交通安全県民運動

令和2年12月21日(月)から
令和3年1月4日(月)までの15日間

運動の重点

飲酒運転

見過ごすな信じて挙げた小さな手

〇〇〇飲酒運転の根絶及び危険運転の防止
〇〇〇子供と高齢者の安全な通行の確保
〇〇〇高齢運転者の交通事故防止
〇〇〇早めのライト点灯による夕暮れ時と夜間の交通事故防止



絶対しないで

沖縄県・沖縄県交通安全推進協議会

令和元年度JA共済交通安全ポスター沖縄県コンクール(優良賞)
名護市立屋部中学校1年(受賞時) 仲村 美緒さんの作品

令和2年 年末年始の 交通安全県民運動

本運動は、広く県民に交通安全思想の普及・浸透を図り、交通ルールの遵守と正しい交通マナーの実践を習慣付けるとともに、県民自身による道路交通環境の改善に向けた取組を推進することにより、交通事故防止の徹底を図ることを目的とする。

運動期間

令和2年12月21日(月)から令和3年1月4日(月)までの15日間

運動スローガン

見過ごすな 信じて挙げた 小さな手

運動の重点

- 〇 飲酒運転の根絶及び危険運転の防止
- 〇 子供と高齢者の安全な通行の確保
- 〇 高齢運転者の交通事故防止
- 〇 早めのライト点灯による夕暮れ時と夜間の交通事故防止



年頭のごあいさつ



(公財)
沖縄県交通安全協会連合会
会長 安里 昌利

新年あけましておめでとうございます。

皆様方には、ご家族とともに輝かしい新年をお迎えのことと心からお慶び申し上げます。

昨年中は、沖縄県交通安全協会連合会の運営に格別のご理解とご支援を賜り誠にありがとうございました。

また、各地区交通安全協会の皆様をはじめ地域のボランティア、関係機関・団体の皆様方には地域における交通安全活動の各般にわたり献身的なご尽力を賜り、厚く御礼を申し上げます。

昨年は、新型コロナウイルス感染拡大に伴い、在宅勤務やソーシャルディスタンスなど、コロナ禍における私達の生活様式は大きく変化し、そして様々なイベントが中止になりましたが、当連合会の活動も例外ではありませんでした。

例年開催してきた「交通安全子供自転車大会」や二輪車を対象とした「セーフティライディングスクール」の中止や、交通安全活動に尽力された個人・団体及び優良運転者の表彰は伝達という方法にしたほか、各季に開催している交通安全運動の街頭広報活動では、3密を回避する「非接触型」で行うなど新しい活動方法が求められました。

しかし、生活様式が変化しても交通事故は相変わらず発生しており、コロナ禍においても、県民の交通行動の変化を注視しつつ、地域の実情に応じた運動を展開し、交通安全意識の高揚に努めなければなりません。

さて、昨年は、第10次沖縄県交通安全計画の最後の年であり、同計画に示された「令和2年までに年間の交通事故死者数を33人以下にする」という目標達成に向け、当連合会や各地区交通安全協会におきましては、県警察、関係機関・団体等と連携して交通安全運動や広報啓発活動に取り組んで参りました。

新型コロナウイルス感染拡大防止目的の国や県の緊急事態宣言で県民等が外出を控えたことで交通量が減少し、令和2年11月末の県警の統計によりますと、交通事故死者数はこれまでで最も少ない19人で、交通事故の総数や負傷者数も前年より大幅に減少しております。

これまで全国ワーストワンやワースト上位にあった飲酒絡みの事故は、令和2年10月末現在、飲酒絡み事故構成率は、速報値で見ると全事故で全国21番目で、死亡事故は全国32番目となっており、一定の改善が認められますが、当県の課題である飲酒運転は、依然として検挙件数が全国上位にあることから、飲酒絡み事故が再びワーストワンとなることが懸念されます。

このような県内の交通情勢を踏まえ、当連合会としましては、「日本一交通安全な沖縄県」の実現に向け、本年も職員一同、気持ちを引き締めて交通安全活動に邁進する所存でありますので、県民の皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。

結びに、皆様方の益々のご健勝とご多幸を祈念申し上げ、新年のご挨拶と致します。



沖縄県警察
本部長 宮沢 忠孝

謹んで新年のお慶びを申し上げます。

平素から、警察行政各般、とりわけ交通安全活動に深い御理解と御支援を賜り厚く御礼申し上げます。

昨年は、新型コロナウイルス感染症拡大により、活動が制限される中、沖縄県交通安全協会連合会や各地区交通安全協会をはじめ、関係機関、団体、交通ボランティア等との連携した取組により、県内の交通人身事故の発生件数が令和元年に比べて大幅に減少するなど、一定の成果を挙げる事ができました。

その一方で、本県で長年にわたり大きな社会問題の一つとなっております飲酒運転につきましては、飲酒絡み人身事故の構成率が全国に比べて高い状況で推移しているほか、飲酒運転の検挙件数の多さも全国上位に位置するなど、依然として憂慮すべき状況が続いております。

また、あおり運転を原因とする悲惨な交通死亡事故の発生等を背景として、昨年、妨害運転罪が創設されました。

このような情勢の下、県警察といたしましては、今後とも、重大事故に直結する飲酒運転やあおり運転等の悪質・危険な違反に対する交通違反取締りを強化するとともに、関係機関、団体等との連携を更に密にして、「飲酒運転をしない させない 許さない」社会環境や、安全で円滑な道路交通環境の構築のための取組をより一層推進していくこととしております。

県民の皆様におかれましては、「交通ルールの遵守」と「正しい交通マナーの実践」とともに、「飲酒運転の根絶」に向けた取組を更に推進していただき、「交通事故のない日本一安全・安心な沖縄県」の実現に向けて、引き続き御協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、県民の皆様のみまますの御健勝、御多幸を心から祈念申し上げ、新年の挨拶と致します。

謹んで新年のお慶びを申し上げます。

沖縄県内14地区の交通安全協会では、本年も「交通事故抑止・飲酒運転根絶」に取り組んで参ります。皆様方のご支援を賜りますようお願い申し上げます。



那覇地区交通安全協会
会長 上間 優



豊見城地区交通安全協会
会長 多良間 朝時



糸満地区交通安全協会
会長 玉城 正雄



与那原地区交通安全協会
会長 石川 清敏



浦添地区交通安全協会
会長 比嘉 清



宜野湾地区交通安全協会
会長 比嘉 光子



沖縄地区交通安全協会
会長 宮城 好博



嘉手納地区交通安全協会
会長 池原 崇順



うるま地区交通安全協会
会長 当銘 博



石川地区交通安全協会
会長 仲村 弘喜



名護地区交通安全協会
会長 比嘉 恵一



本部地区交通安全協会
会長 比嘉 清



宮古島地区交通安全協会
会長 新里 孝行



八重山地区交通安全協会
会長 長浜 寛

初の試み「高校生 交通安全広報にご協力！」

当連合会では、四季の交通安全運動毎に、交通安全広報テープを作成し、県内14地区の交通安全協会に配布し、広く県民皆様の交通安全意識の普及高揚に寄与している。

この度、初の試みとして、那覇西高等学校生徒会執行部(アナウンス担当)生徒の皆様に、FM ラジオ局のご指導の下、今年の年末年始の交通安全県民運動に活用する交通安全広報テープの作成にご協力頂きました。

今回、高校生が、交通安全意識の普及高揚に関わることで、他高校生の模範となり、更なる交通安全運動への輪を広げる弾みに繋がってくれるものとご期待致しております。

本年12月9日(水)安里昌利当連合会会長は同校を訪問し、ご協力頂いた同校関係者に対し、「若い皆さんが、交通事故防止活動に関心を寄せられ活動することは、大変いいことです。」等と感謝を述べるとともに、今後の一層のご活躍を祈念し、感謝状及び記念品を贈呈しました。



広報文録音状況



受賞者写真中央(右)菅原由夏・(左)熱海花渉

各地区安全協会の取組み

悲惨な交通事故を1件でも少なくする事を目的に
関係機関・団体等と連携して
様々な交通安全活動に取り組んでいます。

那覇地区



秋の全国交通安全運動 開始式

豊見城地区



飲酒運転根絶対策

糸満地区



交通事故死ゼロを目指す日

与那原地区



交通安全ココ・コーラゼロ作戦

浦添警察署



交通安全パネル展

宜野湾地区



飲食店飲酒運転根絶対策

沖縄地区



飲酒運転根絶アイキャッチ作戦

嘉手納地区



交通安全スローガンコンクール表彰式

うるま地区



街頭交通キャンペーン

石川地区



商工会女性部「アイキャッチ作戦」

名護地区



街頭キャンペーン(飲酒運転根絶)

本部地区



交通安全祈願祭

宮古島地区



飲酒運転根絶対策

八重山地区



二輪車街頭パレード(出発式)

交通安全協会の活動は、運転者の方々の「協力費」によって支えられています。